



# すぎのこつうしん

平成27年2月号

## 『 謝り合う心を育みましょう 』

インフルエンザが少しずつカトリック保育園にも到来。ありがたかない事ですが、常日頃のうがい手洗いをさらに徹底していかなければと思います。

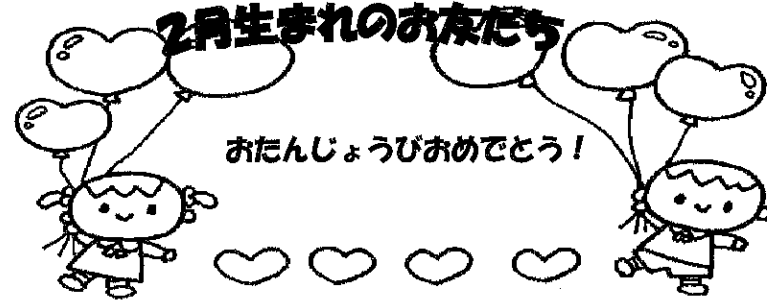
ともあれ、登園している子ども達は園庭にわずかに残る雪や水たまりにはった氷を嬉しそうに触ったり、見たり元気に遊んでいます。ほとんどの子は外で寒さの中でも楽しそうに遊んでいるのですが、何人かは“足が冷たい”“手が冷たい”と訴え、泣きそうな顔をして園長室に来て、ファンヒーターで暖まっています。それ程長い時間ではないので防寒具をきちんと身に付け、外の冷気に触れ、気管や皮膚を刺激することも身体を丈夫にする為には必要な事でしょう。寒い時には寒いりの衣服の着方を知らせることも大切な事です。日本のこの四季を利用し子ども達に伝えていきたいですね。

2月の目標は『謝り合う心を育みましょう』です。

毎日子ども達が一緒に生活している中で、最初は楽しく笑顔で遊んでいるのですが、度が過ぎてあまりにも楽しくなり、行動が乱暴になってしまうことがあります。相手を叩いてしまったり、押ししまったりし、泣き出してしまうこともあります。してしまった子は「ごめんね」と謝りますが、相手は赦してくれるとは限りません。そうなると思っても赦してくれないから謝らないでおこうと思ったり、どうやって謝っていいのかわからないままになってしまい言葉に表せなくなったり・・・。

“素直に謝る”には相手側の“赦す”という気持ちも重大なものになってきます。人を赦せないという心は大人になってからも自分を赦せないという心に繋がっていくのではと考えます。自分を赦せないという心はとても苦しく自分自身をおいこんでしまうことだと思います。そうならない為にも子どもの頃から周囲の大人が「赦す心」「謝る心」を持って子どもたちに接していく必要があるのだと思います。友達との遊びの中で、家庭の生活の中で「ごめんね」「いいよ」と素直に言い合える優しい心を育てていきたいですね。

< 園長 平野義子 記 >



## ★ お父さん・お母さんから ★

〇がばんび組に入園したばかりの頃、その時ひつじ組だった男の子がお散歩に行き、ばんび組の子達にお花を摘んできてくれたことがありました。その花の可憐なこと、男の子の優しさに感動して、〇もこの保育園にいればあんな風になれるのかな、なんて考えたものでした。

今2人の弟を持つ〇は、上の弟におもちゃを貸し、下の弟が泣きそうになると抱きあげてあやしてくれる優しいお姉ちゃんになりました。カトリック保育園で育ったからこそ、私の願いは叶ったのだと思います。行事ごとに頂く手作りのプログラム、お迎えに行った時には必ずどこかしらお掃除をしている先生の姿、そんなひとつひとつの出来事に子ども達を大切に下さる気持ちを感じ、親の私は感謝感謝。

〇は大切な心を育むことができました。本当にありがとうございました。卒園まであと2か月、寂しい限りですが元気に過ごしてほしいと思います。

< ひつじ組 〇〇〇ちゃんのお母さん >

〇〇は生後2ヶ月からカトリック保育園に入園し、あっという間にもう卒園。早いですね・・・。離乳食がなかなか食べられず、アレルギーもあり、体が弱った〇〇が今では健康体になりました。歌とダンスが大好きで、保育園から帰ると「今日はこの歌をうたったよ」と家で歌ってくれます。

色々な学びもあり、団体行動が苦手、思い通りにならないと直ぐに怒ってむついたり、自分の気持ちを上手く言葉に出来ず、何度もトラブルを起こし、先生方やお友達にご迷惑をおかけしました。それでも沢山の愛情で保育して下さった先生方、いつも遊んでくれて、助けてくれたり、遊んでくれたりしてくれたお友達に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

残り少ない保育園生活を元気に(少しおさえて)楽しくいっぱい思い出作ってね。保育園で学んだ事を親子共々忘れずしていきたいと思っています。

< ひつじ組 〇〇〇〇君のお母さん >

## 2月の行事予定

- 2日(月) 静修
- 3日(火) 節分の集い
- 5日(木) 雪遊び交流会(川崎がけ保育園とひつじ組)
- 6日(金) 卒園児記念撮影
- 13日(金) 誕生会
- 14日(土) 新年度説明会、保育参観
- 24日(火) 縦割り保育  
※遊戯指導



「ごめんね」「いいよ」のやりとりが仲直りの印。そう思っていた昔のわたし。なかなか謝る事のできない子に(なんで謝れないの?言った方が仲直りできるのに)とただ“謝る”ということだけしか考えていなかったのです。『なぜその子が謝らなければいけないような行動をしてしまったのか?そこを分かってあげなければ、その子の中の「なんで!?!」も大きくなるばかりで謝ることなんてできませんよね。じっくりと話を聞く姿勢で向き合うようになりました。これでうまくいく!・・・ことはなく、今度は年齢が上がることで問題は複雑になり意地を張る、すねるといった行動がでてきました。何を言っても聞いてくれません。そういう時は『待つ』ということを学びました。子どもが自分の気持ちを整理し、自分から謝ろうとするまで待つことも大切かもしれないと思いました。0~3歳までは、何が良い事であるか、何がいけない事であるかを時間をかけて何度も伝えていき、4歳、5歳、6歳になり、相手のことが少しずつ考えられるようになったら、自分で悪かったことに気づき、謝れるよう何度も何度も子ども達に伝えながら接していきたいと思う今の私です。

< ばんび組 担任 菅原理以 >



### ◎ ばんび組(0歳児)

<ねらい>

- してはいけないことを知り、「ごめんなさい」と動作で表そうとする。
- 健康状態に配慮しながら外気に触れ、丈夫な体作りをする。

<家庭連携>

- 生活や遊びの中で、してはいけない事をした時はその都度知らせ、謝るということを少しずつ知らせていきましょう。
- 体調の良い日や天候の良い日は外気に触れる機会を作りましょう。

### ◎ ひよこ組(1歳児)

<ねらい>

- 「ごめんね」「いいよ」と謝ったり赦す事を知る。
- 食器に手を添えたり正しいスプーンの持ち方で食事をする。

<家庭連携>

- いけないことをした時はなぜいけないかを知らせ、「ごめんね」と言葉や動作で謝ることや「いいよ」と赦すことを知らせていきましょう。
- 食器に手を添えることを一緒に行ったり、正しいスプーンの持ち方を知らせ、意欲的に行えるようにしましょう。

### ◎ こどり組(2歳児)

<ねらい>

- 「ごめんね」「いいよ」と素直に謝り、赦し合う心地良さを知る。
- 言葉への興味、関心により言葉の語彙が増える。

<家庭連携>

- 小さなことでも「ごめんね」「いいよ」と謝り、赦し合うようにしましょう。
- 日の出来事など会話を多く持ち、話すことにより言葉への興味、関心が高まるようにしましょう。

### ◎ こねこ組(3歳児)

<ねらい>

- 謝ろうとする心、赦そうとする心が育つ。
- 寒さに負けずに戸外で体を十分に動かして遊ぶ。

<家庭連携>

- 相手の気持ちや何がいけなかったのかを一緒に考え、素直に謝ったり、赦せる気持ちが持てるようにしましょう。
- 天気のいい日には戸外を散歩したり、雪や氷に触れ、子ども達の思いや発見に共感してあげましょう。

### ◎ うさぎ組(4歳児)

<ねらい>

- 互いに謝り合う心、赦し合う心が育つ。
- 苦手なことにも挑戦しようとする。

<家庭連携>

- 相手の気持ちを考え、素直に謝ったり、赦し合えるように生活の中で知らせていきましょう。
- 興味のあることや得意なことだけでなく、苦手なことにも挑戦できるように働きかけていきましょう。

### ◎ ひつじ組(5歳児)

<ねらい>

- 相手の気持ちに気付き、謝ったり、快く赦し合う心が育つ。
- 生活や遊びに見通しを持ち、意欲的に取り組む。

<家庭連携>

- 素直に謝ったり赦すことができるよう、子どもの言葉に耳を傾け、なぜいけなかったのか知らせたり、相手の気持ちを考える場を持ちましょう。
- きちんと目を見て話をしたり、時計の数字を知らせることで、生活や遊びに見通しを持てるようにし、気持ちの切り替えができるようにしましょう。

### ◎ 給食室

寒い日が続いています。子どもは風の子と言いますが、「寒い寒い」と中に入って暖をとる子ども達の姿が見られます。早寝早起き、しっかり朝食を食べると体がぽかぽかして一日元気に過ごせます。規則正しい生活を心掛けましょう。



#### ♪ 北風小僧の寒太郎

- |   |   |
|---|---|
| 1. きたかぜこぞうの かんたろう<br>ことしも まちまで やってきた<br>ヒューンヒューンヒュルルンルンルンルン<br>ふゆでござんす ヒュルルルルルル | 2. きたかぜこぞうの かんたろう<br>くちぶえふきふき ひとりたび<br>ヒューンヒューンヒュルルンルンルンルン<br>さむうござんすヒュルルルルルル |
|---|---|

3. きたかぜこぞうの かんたろう  
でんしんばしらも ないている  
ヒューンヒューンヒュルルンルンルンルン  
ゆきでござんす ヒュルルルルルル



#### ♪ 恵みは主から

1. めぐみは しゅから このひわたしにおくられてきた このひわたしに  
※アレルアレルヤ アレルアレルヤ  
※繰り返し
2. すくいよ しゅから このひあなたにおくられている このひあなたに  
※アレルアレルヤ アレルアレルヤ  
※繰り返し
3. すべてはめぐみ いのちもであいも きょうもかみの あいはとどいた  
※アレルアレルヤ アレルアレルヤ  
※繰り返し

#### おしらせ

- ボックスティッシュを集めます
- 防寒具に名前のない御子さんがいます。手袋、帽子、靴下には必ず貼記をお願いします。



## あなたの一分間拝借!

2015年2月1日



「お母さん、今日は早く迎えに来てね。約束だよ、きつだよ!」・・・  
 お仕事に走っていくお母さんの後姿を寂しそうに見送る子ども達のまなざし。子ども達の心がイライラしはじめ、先生の励ましの言葉も聞こえなくなり、遊具に八つ当たりしたりする場面も時々見受けられます。どうしても都合がつかず、約束通りお迎えに来れなかったお母さん・・・。  
 「ゴメンナサイネ!」と謝りながら駆け込んでくる姿・・・。  
 「お母さん、また遅刻!今朝約束したのに!」  
 保育園ならではのひとこまでず。  
 半べその顔と気まずそうなお母さんの顔との交わりを見てハッとさせられるものです。何でもない当たり前のことに秘められたしかも忘れかけている大事なことに気がきます。それは、「謝り合う心」ではないかということをお母さんは教えてくれているのではないのでしょうか。

2月の心の教育、人間性教育の重点、それは、「謝り合う心、赦し合う心の育成に力を尽くしましょう!」です。「謝る」とは一体、どういう意味でしょうか・・・少し考えてみましょう。「謝」とは漢和辞典によれば大きく分けて二つの意味があることが分かります。一つは「断る」という意味です。「約束だよ」という子どもの心からの願いを断る、拒絶するお母さんの心を表していることです。彼女の良心は、叫びます・警告します。子どもに謝るべきかどうすべきか・・・遅れた理由を子どもに理解してもらえるか・・・いや、やっぱり「ゴメンナサイ!」と言おうと決心し、謝るお母さん・・・これが謝罪という言葉で表現されます。そこにはお母さんの反省と痛悔の念が含まれている「謝」の深意を読み取ることが出来ると思います。子どもの「約束」を矢で射る心に従ったことを詫言る状態を「謝」(相手の言葉に対して弓で射る)の字で表しています。もう一つの意味は、「礼を言う」即感謝することを意味していることに心の目を向けていただきたいと思います。自分の言行が神意にかかっているか分からない時、子どもの穢れのない叫び「約束だよ」に目覚め、思わず謝意の力を与えてくれたことに「礼を言う」を示していることです。

まさに「謝」の字に秘められた深意に尊厳を見ることが出来ます。「断る」から詫言るへ「詫言る」から「礼を言う」感謝の心へと一連の心的動きを論していることを心に銘記し、2月のテーマに挑戦しようではありませんか。霊的精選に改めて「謝り合う心」の育成に力を注ぎ、他者の忠告や戒めの言葉を感謝の心で受け止める大きな力、寛容の心即愛の賜物を祈りつつ進化することが出来たらと思います。



誰でも心の奥の隅に「おごりの心」傲慢心を持っております。完璧な人間はどこにもいません。自分の罪、過失、失敗を素直に認めようとする心がない心があることに目覚め、自尊心をもって、謙虚な力を祈りつつ、「謝」の字にふさわしい人間性を持つことが出来たらと常々猛省している御仁です。

### 聖書の中に記されている言葉

もし、あなたがたが人のあやまちを赦(ゆる)すならば、あなたがたの天の父もあなたがたを赦して下さるであろう。しかしあなたがたが人のあやまちを赦さないならば、あなたがたの父もあなたがたをあやまちを赦してくださらないであろう。(マタイ6の14~15)

わたしの天の父も、もしあなたがた一人ひとりが、自分の兄弟を心から赦さないならば、あなたがたに同じようになさるであろう。(マタイ18の35)  
 わたしたちの負い目を赦して下さい、同じように私たちも、私たちに負い目のある者を赦します。(主の祈りより)

「鬼は外 福は内」  
 心の鬼を退治して下さい!

カトリック司祭  
 川井 啓

